

【支部総会報告】

大阪支部

四方 淳司(短3回生)

平成29年7月8日(土)例年と同じく梅田の阪急ターミナルビル(株)島津製作所関西支社にて学友会大阪支部総会を開催いたしました。今回はMRIの研究会などと重なったこともあり、参加者は例年より少ない55名でした。

15時から3題の特別講演が行われました。1題目は島津製作所の坂田秀之氏より『近赤外光カメラシステム LIGHTVISION の紹介』と題し、近赤外光を利用して、乳癌のセンチネルリンパ節の同定を行う手術支援や、静注により心臓血管の血流を可視化できるNIRSについて講演していただきました。2題目は京都大学医学部附属病院の小泉幸司氏(短2回生)より『考えるCT』と題し、CTの歴史から後輩の指導方法に至るまで幅広くCTにおける知識を教えてくださいました。3題目は京都医療科学大学の柴田登志也先生より『画像診断医が、診断する手ごかりは？ 根拠は？』と題し、今後の診療放射線技師の業務拡大の中で読影補助のあり方や、近未来の教育課程の動向など技師教育の最新情報について講演していただきました。どの演題も将来へ向けて役立つ内容でありました。

引き続き17時より総会が行われ、山村憲一郎支部長(61回生)、玉田彰学友会会長(53回生)、遠藤啓吾学長よりご挨拶をいただきました。学長からは創立90周年記念講演会や学生食堂のオープンについて報告があり、森俊博事務課長からは新棟建築の状況や、新たに創設される島津奨励金などの大学の近況を報告して頂きました。議事では役員の変更があり新川秀和氏(63回生)が新大阪支部長に選出されました。その後記念撮影を行い、支部総会は終了しました。

18時からは会場を同ビル17階『シーファ』に移し、懇親会が行われました。濱田淳也氏(65回生)の開会の辞のあと松山宜生奈良支部長(56回生)、大澤啓次京都支部長(65回生)の祝辞に続き、玉田会長による乾杯のご発声で始まりました。会の中頃で、協賛各社のご挨拶があり、遠山景子講師(64回生)より新入会員の紹介、並びに各新入会員は現在の業務や抱負などを披露し、中には失敗談なども飛び出して大変盛り上がりました。終盤に、新川新支部長による挨拶と恒例の後藤正季氏(34回生)による校歌斉唱で再度盛り上がり、締めには山村支部長による一丁締めにて会はお開きとなりました。

最後になりましたが、参加していただいたご来賓の皆様、会員の皆様、協賛企業各社の皆様、本当にありがとうございました。次回もお誘い合わせの上、多数のご参加をお待ちしております。



以上